

下関市議会総務委員会からの報告書

【趣旨】

令和7年8月8日、10月15日に実施された当委員会の「市民と議会のつどい」において、下関市立大学の学生及び下関商業高等学校の生徒と意見交換を行いました。

参加した学生・生徒からは、投票率の向上、観光・娯楽の充実、公共交通や生活環境の利便性向上等に関する多くの提案や意見が寄せられ、本市の未来を担う大学生や高校生の声は、市政にとって極めて重要な示唆を含んでいます。

若者が住み続けたい、帰ってきたいと感じるまちづくりの実現に向けて、主な意見等を取りまとめましたので 今後の施策への反映を期待いたします。

【主な提案や意見】

1.若者の政治参加への促進

- ・学校教育段階での模擬選挙実施や主権者教育の強化
- ・大学キャンパス内への期日前投票所の設置の検討
- ・マイナンバー等を活用した新しい投票方式(オンライン投票等)の国への要望
- ・候補者や政策を分かりやすく紹介する「若者向け選挙ガイド」の作成と発信の強化
- ・有名人や地元出身者による投票の呼びかけ、SNSの更なる活用など親しみやすい広報活動の展開

2.若者に選ばれる観光・娯楽環境の整備

- ・交通系ICカードの早期導入、利便性の向上
- ・人気観光地(火の山、角島、巖流島など)への直行シャトルバス、フリーバス制度の導入
- ・大学生も利用しやすいカーシェア、レンタカー制度の整備
- ・体験型観光(魚さばき体験、着物、甲冑体験など)の充実
- ・宿泊需要を創出するナイトタイムエコノミー施策の検討
- ・プロスポーツや音楽イベント、屋内型アクティビティ施設の誘致
- ・多世代が歩きたくなる商店街の推進(食べ歩き、スイーツ、体験型ショッピングなど)

3.生活利便性・公共交通の改善

- ・バス停環境(ベンチ、日除け)の整備
- ・過疎地におけるデマンド型交通の導入
- ・バス料金や時刻表の改善(分かりやすく、簡易に)、時間帯割引や実証的な無料運行日の設定
- ・コミュニティバスの拡充による交通アクセスの改善
- ・JR駅のバリアフリー化(特に幡生駅)、終電時間の延長
- ・タクシー不足地域への支援やデジタル化による利用促進
- ・駅や通学路、学校周辺の街灯増設や防犯カメラの設置による安全な環境の整備
- ・学生向け交通クーポン制度や「バスの日」など割引キャンペーンの導入

以上